

（ほ）う）こん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2019年11月6日発行（毎月1回6日発行）
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <https://houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

10月21日開催セミナー 申し込み受付中！

― 9月理事会報告 ―

2019年9月26日、9月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 鈴木副委員長

・8月25日に委員会を開催した。

・12月号特集は「公共メディア」。表紙は松下奈緒さん、ザ・パーションは玉川徹さん。

・1月号特集「第57回ギャラクシー賞上期」。応募状況により増ページを検討する。また、10月開催セミナー抄録を掲載予定。1月号より「CM GALAXY」が2ページから4ページになる。

・2月号はケーブルテレビ、3月号はマーケティング戦略の最前線の特集を予定している。

◇選奨事業委員会 稗田委員長

第57回ギャラクシー賞上期各部門の応募要項に、HPに映像を掲載

する旨を記載した。応募要項を統一化したかどうかという要望があり、10月または11月理事会でたたき台を提出予定。

〈テレビ部門〉 岩根副委員長

・7月29日に月評会を開催した。月間賞には、ドラマ24「きのう何食べた？」（テレビ東京）、NHKスペシャル「夢をつかみにきたけれど ルポ・外国人労働者150万人時代」（NHK）、「50日間で女性の顔は変わるのか!」（日本テレビ）、BS1スペシャル「ラストトーキョー」はぐれ者たちの新宿・歌舞伎町」（NHK）の4本を選んだ。

・8月26日に月評会を開催した。

月間賞には、E TV特集「忘れられたひろしま」8万8千人が演じたあの日、NHKスペ

シャル「全貌二・二六事件」最高機密文書で迫る」「昭和天皇は何を語ったのか」初公開・秘録『拝謁記』」（3本ともNHK）、ドラマイズム「スカム」（毎日放送）の4本を選んだ。

〈ラジオ部門〉 五井委員長

・8月20日に定例会を開催し、イマジネーションの世界を追求した「なりきりラジオ 第2弾」をテーマに、「Dressing of the Nic e Fantasy!!」（中国放送）、「名古屋おもてなし武将隊 戦国音絵巻」（CBCラジオ）を聴取し議論を交わした。

・9月24日に定例会を開催し「朝ワイド」をテーマに、「朝刊さくらん」(HBCラジオ)、「小林徹夫のアサデス。ラジオ」(九州朝日放送)を聴取し議論を交わした。

〈CM部門〉 服部委員長

・8月21日に定例会を開催し、33本のCMを視聴した。ユニクロカーブパンツ、サンスター GUM デンタルブラシ、スタップサイビス オー人事、ホワイトエッセンスなどのCMが注目を浴びた。

・9月19日に定例会を開催し、31

作品のCMを視聴した。三菱地所「丸の内のラグビー熱篇」、ALLBLACKSが出演するAIG損保の広告など、ラグビー関連のCMが注目を浴びた。

・GALACI月号より増ページする「CMGALAXY」の新デザイン案を理事会で共有した。

・11月16日上智大学にて「ギャラクシー賞CM入賞作品を見る・聴く会」を開催予定。

〈報道活動部門〉丹羽委員長

・報告は特になし。

◇企画事業委員会 桜井委員長

・10月開催セミナーの参加申し込み受付中。現在70名以上の申し込みがあり、初動は順調である。

・「GALAC」に広告を掲載、正会員、維持会員、過去参加者へのメール告知などの広報活動を行った。

・登壇者らとの打ち合わせも随時行っている。

・これまで質問用紙を会場で配布していたが、QRコードやハッシュタグなどSNSを利用した取り組みができないか今後の委員会で検討する。

◇広報委員会 滝野委員長

・8月27日に委員会を開催した。8

月末時点でGメンバーは175名。二カ月で21名の新規入会があった。8月号表紙メイキング写真掲載の効果などが考えられる。

・HPの新しいコンテンツとして

「GALAC」11月号から、現在googleやniftyに提供している連載記事(月間賞、海外メディア最新事情、報道番組に喝、今月のダラクシー賞)を掲載する。また、HP限定記事として「ドラマのミカタ」の掲載も検討しており打診中。ほかオリジナルコンテンツとして、新ドラマ座談会を次回広報委員会で実施予定。

2. その他

①正会員退会の件

秋吉淳一郎さん

②放送批評懇談会60周年の件

・8月に常務理事会を開催し、60周年プロジェクトについて検討した。

(1)ギャラクシー賞60年史、(2)ギャラクシー賞改革↓ギャラクシー賞検討委員会の発足、(3)認定NPOの研究、(4)放送批評懇談会60年史などの案があった。本理事会では

(1)(2)についての委員会設置を承認した。

・(2)のギャラクシー賞について、

5Gが開始され放送と通信の垣根がますますなくなっていくなかで、放送作品にこだわるべきなのか真剣に考える時期ではないか、との意見があった。

③日韓中テレビ制作者フォーラムの件

・中国開催の第19回日韓中テレビ制作者フォーラムは、10月29日から11月2日、中国の貴州黔南州興義での開催が決定。放送批評懇談会からは音理事長が参加することを承認した。

・日韓中テレビ制作者フォーラムは、中国テレビ芸術家協会、韓国PD連合会、日本放送人の会が運営してきたが、放送人の会が今大会をもって退く。2020年からの日本側の体制については、放送批評懇談会が主たる相談窓口となって調整を進めることとなった。日韓中テレビ制作者フォーラムに何らかの協力を行うことを理事会として承認した。

今後の理事会

10月31日(木)、11月22日(金)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、

川喜田尚、丹羽美之、稗田政憲、五井千鶴子、服部千恵子、桜井聖子、滝野俊一、岩根彰子、奥律哉、鈴木健司、松山珠美、山田健太、中島好登

会議記録

30日	(選奨) テレビ月評会
26日	理事会
25日	出版編集委員会
24日	(選奨) ラジオ定例部会
19日	(選奨) CM定例部会
[9月]
30日	理事会
27日	広報委員会
26日	(選奨) テレビ月評会
22日	出版編集委員会
21日	(選奨) CM定例部会
20日	(選奨) ラジオ定例部会
[8月]



新入正会員自己紹介

元テレビ誌編集長の大学教授です
並木浩一

出版社のダイヤモンド社で社員編集者として在籍し、1996年から98年までテレビ誌「TVステーション」の編集長を務めました。その後、ほかの雑誌の編集長、編集委員等を経験したのち、49歳で大同大学(名古屋)教授に転じ、2012年から桐蔭横浜大学教授の現職にありま

す。教育学の学際分野にも関わっています。本来の専門はメディア論と表象文化論(芸術論)です。特にテレビを対象とし続けた30代での編集長経験は、その後の研究の糧ともなっています。

テレビ番組のアーカイブを資料体(COOPAS)として研究を行うというスタイルは、「視聴し続ける」ことを苦にしないことが前提なのですが、その覚悟ができています。

この度会員としての加入が認められ、どういう形で貢献できるかはまだはっきりとは見定めていませんが、現代のテレビを見続けることによって、やるべきことがはっきりとしてくるといふ予感を持っています。

放懸ホームページ、ぜひご利用ください!



「正会員情報」更新も随時受け付けています。

変更のある方は事務局までお知らせください。

メール: kondankai@houkon.jp

FAX: 03-5379-5510

放懸 HPトップページ

放送批評懇談会セミナー2019

#放送 #改革 #ビッグデータ時代

～ラジオ・テレビの
処方せんを考える～

受講者募集中

開催趣旨

2018年度総広告費6兆5300億円(前年比102.2%)を牽引したのは、5年連続で二桁成長したインターネットでした。放送メディアは利用時間の減少が確認され、広告主からはセールスに不可欠なデータの充実を求められています。次世代モバイル通信規格5Gの普及促進などを背景に、周波数の有効利用が注目される一方、4K8K化など放送の高規格化の道筋は不透明です。当セミナーでは自民党行政改革推進本部事務局長、情報通信戦略調査会事務局次長などを務める小林史明氏に、現在の放送が抱える課題と方向性について伺います。そしてディスカッションでは、放送メディアの中でいち早くradikoでネット対応を果たしたラジオメディアにフォーカスし、第一人者をパネリストに迎えて放送メディアの新しい地平について議論を進めます。

プログラム

【講演】14:00～14:40

放送改革2019の課題と方向性

#ローカル局基盤強化 #同時配信 #上下分離 #ケーブルテレビ #BPO

小林史明 衆議院議員 元総務大臣政務官

聞き手：音 好宏 上智大学教授

【ディスカッション】14:50～16:30

ラジオのリスナーは誰なのか？

#radiko #リスナーファインダー #FM転換 #若年層 #番組制作

三村孝成 TBSラジオ社長

升家誠司 CBCラジオ社長

問題提起：奥 律哉 電通総研フェロー
電通メディアイノベーションラボ統括責任者
ほか調整中

日時：2019年10月21日(月) 14:00～16:30

会場：明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23 Tel.03-3403-1171

■受講料 放送批評懇談会正会員(個人) 3,000円

維持会員(法人) 5,000円

一般 8,000円

■申込先 放送批評懇談会ホームページ <https://houkon.jp/>

ファクス、郵送でのお申込をご希望の方は、資料をご請求ください

Tel.03-5379-5521 Fax.03-5379-5510 event@houkon.jp

■申込締切 10月15日(火) 定員100名、先着順受付。定員になり次第、締め切らせていただきます。

